

グリーンシャベart



No. 92 12月号 発行日 平成25年12月20日

『百年後の当仁を守る』～当仁小学校～ ゲストティーチャーとして参加(活動報告)

《緑のコーディネーター 清長久志さん》

【日 時】11月27日(水) 10:50～11:35

【場 所】当仁小学校 5年生教室

【参 加】清永久志・磯辺孝子



「グリーンシャベる」の4人は、緑のコーディネーター養成講座の実践活動以来、当仁小学校で定期的な花植えと、かがやき学級(特別支援学級)の花・野菜植えのお手伝いをしてきました。校庭には最初に植えた「皇帝ダリア」が、今年も当仁小の子ども達を見守るように咲きました。

今回の「5年生の総合的な学習」への係わりは、昨年5年生が提案した「当仁校区に多い暗い路地を花で明るくする」花植え活動をお手伝いしてからです。

今年は、子ども達が「私達にできることは何かあるかを考える」ことからお手伝いする事になり、私たちの活動紹介と子ども達との質疑・応答に参加しました。

子ども達からの質疑・応答では、「なぜ、緑のコーディネーターを始めようと思ったのですか」「活動を通して、嬉しいなあと感じることはありませんか。また、反対に、嫌だなあとすることはありますか」「年に何回植え替えますか」「花の名前はどれくらい知っていますか」など、私たちの琴線に触れるような素朴な質問が時間まで次々とでました。

肌寒い日が、ホカホカとした気持ちと、冷や汗が出る両方を感じた一日でした。

「グリーンシャベる」のメンバー

・鶴田勇夫 ・田中寿子 ・磯辺孝子 ・清長久志



校門入り口のウエルカム鉢



玄関横のプランター

■かがやき学級をお手伝いして植えました。

目次

- ・百年後の当仁を守る
ゲストティーチャー 1
- ・アイランドシティで
緑のコーディネーターによる
体験講座開催 2
- ・緑のコーディネーター等研修会
に参加して
サクラをきれいに咲かせ
にはる 3
- ・緑のコーディネーター体験講座 4
 - ・シクラメンのこけ玉
 - ・クリスマスリース
- ・緑のコーディネーター体験講座 5
 - ・食べられる花の寄せ植え
 - ・福岡市植物園からの
お知らせ

記事投稿のしかた

本誌に記事を載せたい方は事務局にご連絡の上、記事内容を書面(メール可)で提出してください。記事の量によっては、重要箇所のみ掲載となります。活動参加者募集等を行う場合は、必ず**連絡先、連絡方法**を明記してください。1月号(1月20日前後発行)への投稿の切日は1月10日です。それ以降の投稿は2月号への掲載になります。

(発行元/事務局)

福岡市住宅都市局
みどりのまち推進部
みどり推進課
TEL 7 1 1-4 4 2 4
FAX 7 3 3-5 5 9 0
(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
メールアドレス:
aniju.t@midorimachi.jp
TEL 8 2 2-5 8 3 2
FAX 8 2 2-5 8 4 8

アイランドシティで緑のコーディネーターによる体験講座を開催

【日 時】11月9日（土）13:00~16:00

【場 所】アイランドシティ・アーバンデザインセンター

環境共生のモデル都市であるアイランドシティにおいて、戸建住宅を対象としてガーデンコンテストや寄せ植えコンテストが開催され、表彰式会場において「緑のコーディネーターによる体験講座」を行ってほしいと、福岡市港湾局から依頼があり5講座を担当しました。子どもの参加が多く、どの講座も盛況でした。

審査・表彰には世界的庭園デザイナーであり、アイランドシティ花緑アドバイザーの石原和幸氏が務められ、当日は石原氏による寄せ植え講座も開催されました。

■ドライフラワーの
オーナメントツリー
担当：竹下順子さん



■アロマテラピー
(ルームスプレーとバスボム)
担当：西村愛子さん



■エディブルフラワーで
パンケーキづくり
担当：折井由記子さん



■香り玉 (ポマンダー)
担当：蘭牟田了子さん



■カラーサンドアレンジ
担当：渡辺しおみさん



◆石原氏による寄せ植え講座と
ガーデンコンテストのパネル



緑のコーディネーター等研修会(第4回)に参加して ～サクラをきれいに咲かせるには～



《緑のコーディネーター 岩田 登さん》

【日 時】11月19日(火) 14:00～16:00

【場 所】福岡市中央市民センター 第2会議室&舞鶴公園

「サクラをきれいに咲かせるには」をテーマに、一般社団法人福岡県樹木医会の森会長並びに大神理事による座学「サクラを守る」や舞鶴公園での「ソメイヨシノの診断・剪定・再生・養生」等の説明が行われた。



座学状況



現地での説明状況

主要内容及び感想

「桜の品種」

一般的に「サクラ」と呼ばれているのはバラ科サクラ亜属の落葉性の樹木で、主に北半球の温帯に分布し、全世界にある観賞用の桜としては日本原産のものが主となっている。

日本ではヤマザクラなど9種を基本に100以上の桜が自生し、これから生まれた園芸品種は300以上あるといわれているが、サクラは自然交配するため、その数は増加傾向にあり、その為、サクラの見分け方としては「葉→花→樹形→花期→花の色→形→花の数」等で分類していくと判り易いとの事。

「桜を丈夫に育てるためには」

ソメイヨシノ(エドヒガン系の桜とオオシマザクラの交配で生まれたもの)の寿命は一般的に60年程度と云われているが、エドヒガン系の桜は長命で、樹齢1000年以上も数多くあるとの事。

一般的に、「桜切るバカ、梅切らぬバカ」と云われ、桜の枝は切ってはいけないものとされてきたが、青森県弘前公園ではリンゴ(バラ科)栽培の剪定法を活用して、寿命が尽きようとするソメイヨシノ(樹齢100年以上)を復活再生させている。

「植栽環境整備現地説明」

舞鶴公園遊歩道(福岡高等裁判所裏)で、一昨年、樹齢40年～70年前後で末期的な状態になっているソメイヨシノの植栽環境の整備方法(剪定・土壌改良等)についての説明があった。

特に、森会長が発案された桜の幹に土壌改良材等で根巻きし、設置後3年間で新しい根を発根させ地中に誘導(H26年度実施予定)する方法に興味を持った。

「今後の予定・要望」

現在、九大伊都キャンパス内で里山保全や西南社の湖畔公園内で緑に興味を持って、ボランティア活動を行っているが、今回受講した内容を参考に、植樹・剪定・土壌改良等を考慮した植栽環境整備に努めていきたい。

なお、緑に対する意識高揚の為、年数回の「樹木に関する研修会」の開催される事を希望します。

緑のコーディネーターによる体験講座(活動報告)

■シクラメンのこけ玉

《緑のコーディネーター 黒瀬恵子さん》

【日 時】11月12日(火)
14:00~15:00

【場 所】福岡市役所1階 ロビー

【講 師】黒瀬恵子 田中美智子・吉松晃子



3人のスタッフで細やかな指導を行いました

クリスマスやお正月に向けて、シクラメンのこけ玉講座を開催いたしました。市役所を訪れた皆さまも準備の段階から何が始まるかと興味津々でした。

「講座の良し悪しは材料選びで決まる」といっても過言ではないので、数件の園芸店を回り、花付きが良く葉もしっかりしているガーデンシクラメンを選びました。

苔も採取してから10ヶ月間自宅の庭で管理し、1枚のシートになったものを使用しました。こけ玉を作る前に、こけ玉の管理の仕方を説明しましたので、こけ玉作りで一番大切な育て方を落着いて聞いていただくことが出来ました。

糸の巻き方は、模型を使ってわかりやすく説明しました。参加された方は、こけ玉作りが初めてとは思えないくらい苔の巻き方もきれいで、形の整った可愛いこけ玉が出来上がり、とても満足そうでした。



最後の糸巻きも上手に出来ました

■クリスマスリース

《緑のコーディネーター 熊崎容子さん》

【日 時】11月23日(土)
14:00~16:00

【場 所】舞鶴公園管理事務所会議室

【講 師】熊崎容子

竹下順子・藺牟田了子



豪華なリースが完成

生のヒバを使ってクリスマスリースの講座を開催しました。始めに、クリスマスアドベントの話をし、リースの意味も説明して制作に入りました。

黄金ヒバ、サツマ杉、ニオイヒバ、ツガを切って、ワイヤベースの上に、リースワイヤで巻きとめてグリーンいっぱいのリースを作りました。

その上にリボンやベル、木の实、クリスマスオーナメントを飾り付けて完成しました。ちょうど、クリスマスの1ヶ月前で、リースを制作するには最適な日でした。



ヒバを同じ方向に巻いていきます



最後にリボン・オーナメントを飾ります

【クリスマスアドベント】

クリスマス前の期間を「待降節」または「アドベント」と言ってクリスマスの準備の時として過ごします。

【クリスマスリース】

リースには「永遠」という意味があります。今回はクリスマスなので常緑樹を使用しました。



緑のコーディネーターによる体験講座(活動報告)

■食べられる花の寄せ植え

《緑のコーディネーター 折井由記子さん》

【日時】12月8日(日)

13:00~15:00

【場所】舞鶴公園管理事務所 会議室

【講師】折井由記子 西 淳子



色鮮やかな鉢に寄せ植え



見た目も楽しいカナッペとゼリー

食べられる花: Edible=食べられる Flower=花 の寄せ植えと簡単な調理方法を説明、試食していただきました。

3種類のカナッペとナデシコ入りのゼリーを用意し、カナッペの上にパンジー・金魚草・トレニアの花を飾って試食していただきました。ナデシコ入りのゼリーはサイダーに浮かべて食べていただき、花の味の違いを感じていただきました。

試食のあとは、パンジー・ローズマリー・イタリアンパセリを色鮮やかな鉢に寄せ植えし、管理方法を説明しました。

イベントが多くなるこの時期に、目でも楽しめるエディブルフラワーを使ったお料理で、お客様を おもてなし してほしいですね。



和やかな雰囲気です試食タイム

福岡市植物園からのお知らせ(情報提供)



こんにちは。福岡市植物園です。

今年の冬は急に気温が下がり、寒い日が続いています。園内では、これからサザンカやツバキ、ソシンロウバイなどの冬の花が見頃を迎えます。温室では、ブーゲンビリアやハイビスカスといった花が咲き、南国気分を味わえます。また、例年1月中旬にはカエンカズラという植物が、オレンジ色のカーテンのように咲いているのを観察できます。

植物園では、毎年新年を迎えると植物園の正面の改札の前に門松を飾ります。今年はどんな門松が登場するのか楽しみにしてください。

1月2日はお年玉プレゼントを先着200名の方に、また、1月5日は七草粥の試食会(無料)を行います。寒い中でいただく、白く湯気立つおかゆは最高ですよ。

2014年も、福岡市植物園をよろしくお願ひします。

○園芸講座 詳しくはホームページ又は市政だよりをご覧ください

・バラの手入れと管理 1/23(木)開催(×切1/9(木))

○植物観察会

・名は体を表す・名前の雑学 1/11(土)開催(×切12/28(土))

○イベント

・お年玉プレゼント 1/2(木)開催 先着200名

・春の七草粥会(無料ふるまい) 1/5(日)開催 先着200名

☆植物園ホームページ

<http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>



七草粥会の様子



カエンカズラ